

第185期定時株主総会

目的事項

- 報告事項
- 1.第185期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 2.第185期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）計算書類報告の件
- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役9名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件

平成20年6月25日

川崎重工業株式会社

報告事項

第185期 平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで

- 事業報告
- 連結計算書類
- 計算書類

経営環境

国内

上半期 → 概ね底堅く推移

下半期 → 不透明感が増す中で推移

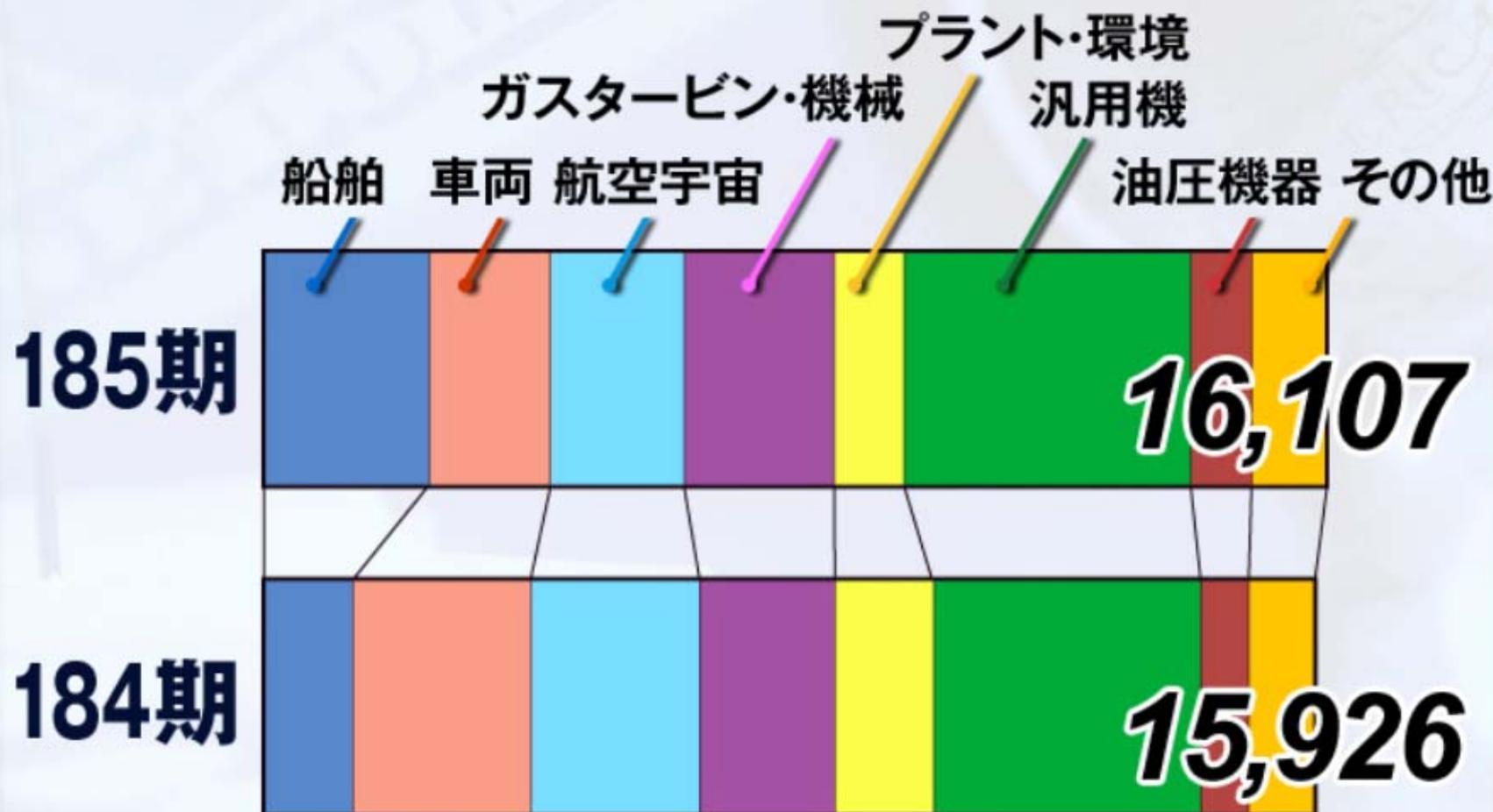
海外

上半期 → 概ね順調に推移

下半期 → 不安材料が多い

受注高 16,107億円 (前年度比1%増)

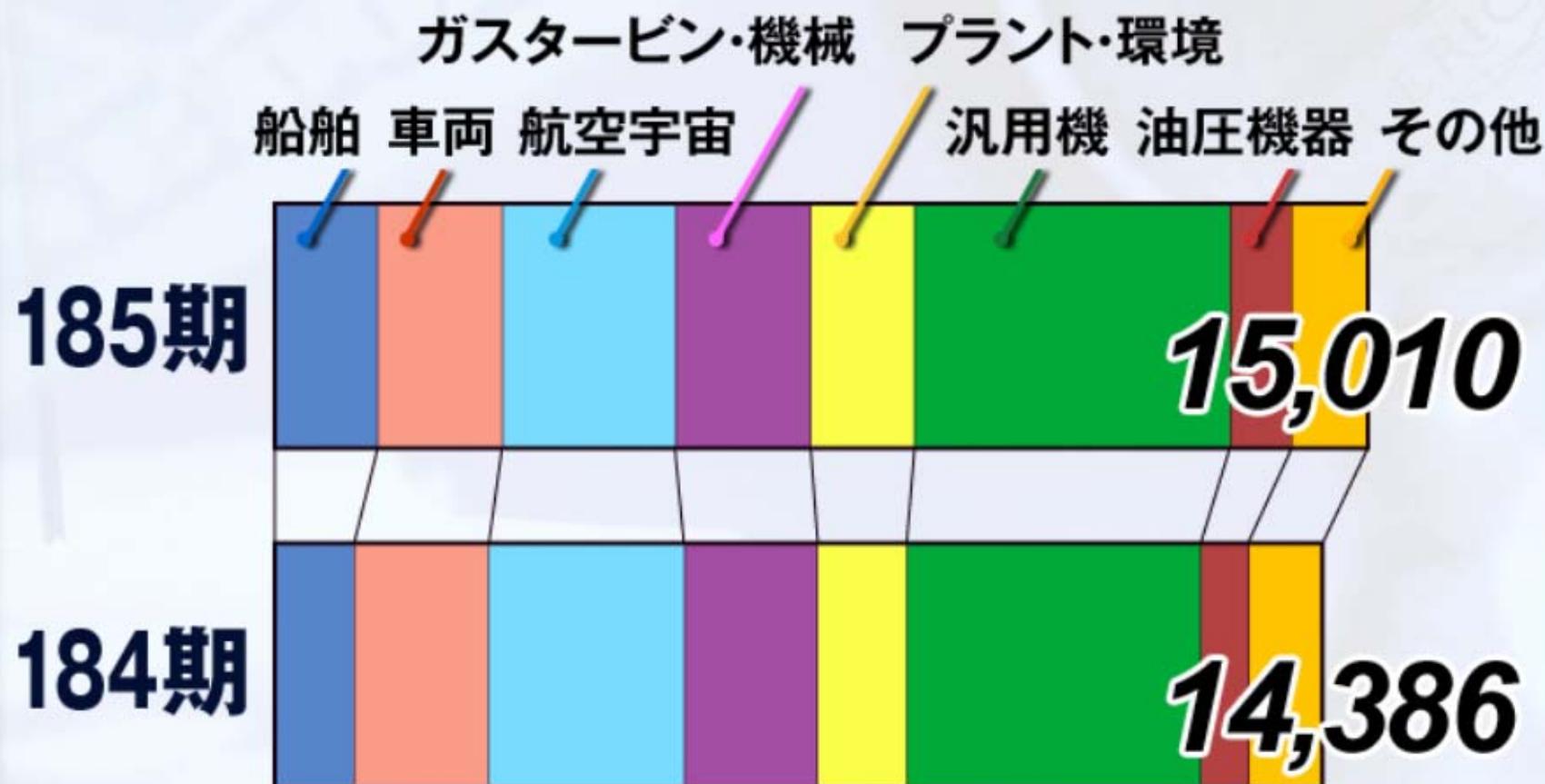
単位:億円



(億円未満切捨表示)

売上高 15,010億円 (前年度比4%増)

単位:億円



(億円未満切捨表示)

営業利益: 769億円

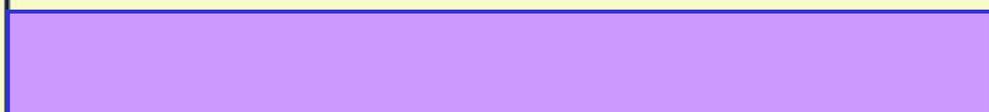
単位:億円

185期



769
(11%増)

184期



691

経常利益: 639億円

単位:億円

185期



639
(30%増)

184期



490

(億円未満切捨表示)

特別損益

特別利益

退職給付信託設定益など 16億円

特別損失

減損損失など 75億円

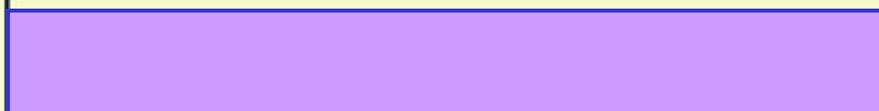
当期純利益:351億円

185期



351
(18%増)

184期



297

売上高、営業利益、經常利益、当期純利益

過去最高

The background is a solid blue color with faint, semi-transparent images of a globe and an open book. The globe is on the right side, and the book is on the left side. The text is centered in the middle of the image.

事業部門別の状況

船舶事業



船舶事業：受注状況

- LNG船 2隻
- LPG船 3隻
- ばら積み貨物船 22隻
- 潜水艦 1隻

船舶事業：受注高合計

単位：億円

185期



2,513

184期



1,356

(億円未満切捨表示)

船舶事業：売上状況

- LNG船
- LPG船
- 大型タンカー
- ばら積み貨物船
- 潜水艦など

船舶事業：売上高合計

単位：億円

185期



1,413

184期



1,088

(億円未満切捨表示)

船舶事業：営業損益

単位：億円

185期

32

184期

▲ 22

(億円未満切捨表示)

車両事業



車両事業：受注状況

- JR各社から新幹線電車、通勤電車、機関車、貨車など
- 公営・私鉄各社から地下鉄電車、通勤電車など
- ニューヨーク市地下鉄電車など

車両事業：受注高合計

単位：億円

185期



1,832

184期



2,691

(億円未満切捨表示)

車両事業：売上状況

- JR向け車両の納入が増加
- 海外向け車両は減少
- 建設機械全体ではほぼ前年度並み

車両事業：売上高合計

単位：億円

185期



1,717

184期



1,842

(億円未満切捨表示)

車両事業：営業利益

単位：億円

185期



71

184期



131

(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業



航空宇宙事業：受注状況

- ボーイング社向けB787・777
旅客機分担製造品など
- 防衛省向けが減少

航空宇宙事業：受注高合計

単位：億円

185期



2,025

184期



2,556

(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業：売上状況

- 防衛省向けが減少

航空宇宙事業：売上高合計

単位：億円

185期



2,373

184期



2,691

(億円未満切捨表示)

航空宇宙事業：営業利益

単位：億円

185期



108

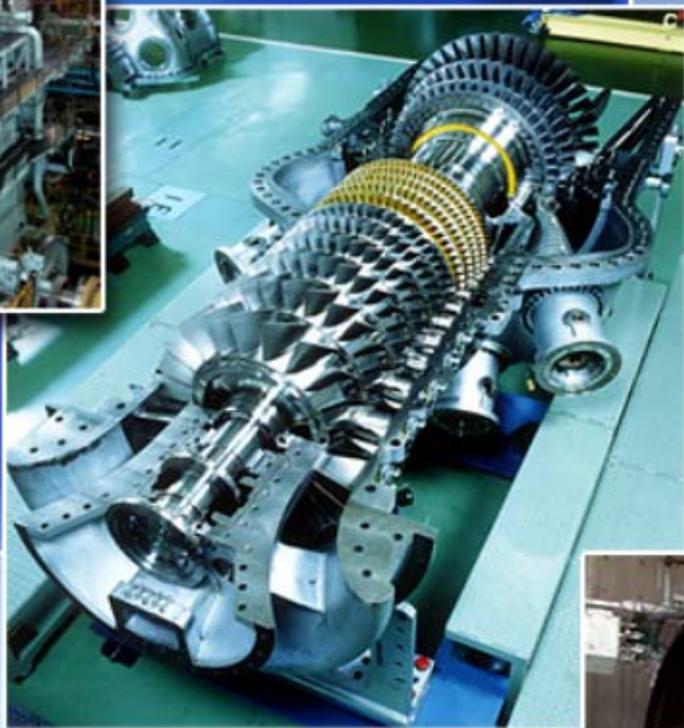
184期



134

(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業



ガスタービン・機械事業：受注状況

- 防衛省向けヘリコプター用エンジン
- 国内外の顧客向けガスタービン発電設備、陸用タービン設備など
- V2500・トレントなどの民需航空機用エンジン分担製造品
- 船用ディーゼル主機関
- 水力機械

ガスタービン・機械事業：受注高合計

単位：億円

185期



2,274

184期



2,048

(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業：売上状況

- 船用蒸気タービン主機関は減少
- 民需航空機用エンジン分担製造品や天然ガス圧送設備が増加

ガスタービン・機械事業：売上高合計

単位：億円

185期



1,854

184期



1,833

(億円未満切捨表示)

ガスタービン・機械事業：営業利益

単位：億円

185期



133

184期



98

(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業



プラント・環境事業：受注状況

- **ボイラタービン発電設備、セメント排熱発電設備などの各種プラント**
- **シールド掘進機など**

プラント・環境事業：受注高合計

単位：億円

185期



1,060

184期



1,502

(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業：売上状況

- LNG 基地
- 海外向けセメント・肥料プラントが増加

プラント・環境事業：売上高合計

単位：億円

185期



1,425

184期



1,220

(億円未満切捨表示)

プラント・環境事業：営業損益

単位：億円

185期

108

184期 ▲ 24



(億円未満切捨表示)

汎用機事業



汎用機事業：売上状況

- 北米向け二輪車は減少
- 欧州向け二輪車が増加
- ロボットに関しては、半導体関連は軟調、自動車関連が堅調に推移

汎用機事業：売上高合計

単位：億円

185期



4,339

184期



4,037

(億円未満切捨表示)

汎用機事業：営業利益

単位：億円

185期



196

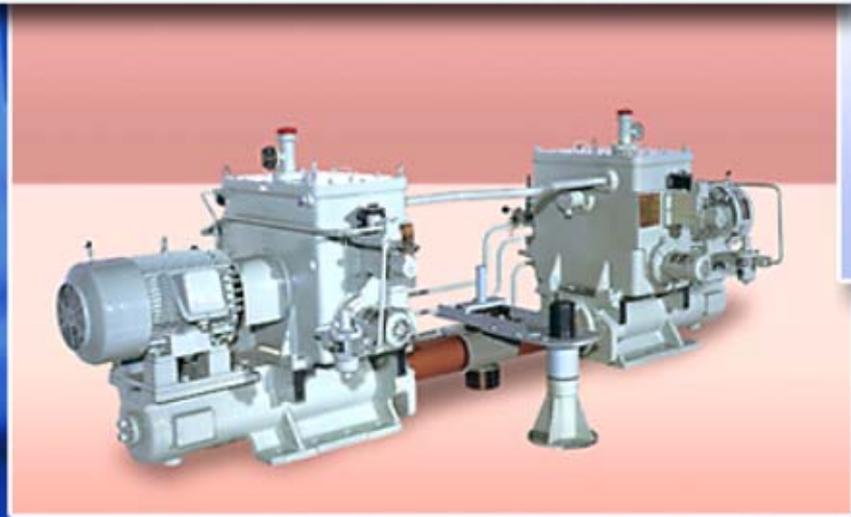
184期



275

(億円未満切捨表示)

油压機器事業



油圧機器事業：受注高合計

単位：億円

185期

923

184期

729

(億円未満切捨表示)

油圧機器事業：売上高合計

単位：億円

185期

840

184期

666

(億円未満切捨表示)

油圧機器事業：営業利益

単位：億円

185期

91

184期

60

(億円未満切捨表示)

その他事業



その他事業：売上高合計

単位：億円

185期



1,045

184期



1,006

(億円未満切捨表示)

その他事業：営業利益

単位：億円

185期



23

184期



35

(億円未満切捨表示)

The background is a solid blue color with faint, semi-transparent images of a globe and an open book. The globe is on the right side, and the book is on the left side. The text is centered in the middle of the image.

連結貸借対照表

連結貸借対照表:資産

単位:億円

	185期	184期	増減額
流動資産	9,822	9,619	203
固定資産	3,964	3,960	4
資産合計	13,787	13,579	207

(億円未満切捨表示)

連結貸借対照表:負債

単位:億円

	185期	184期	増減額
流動負債	8,252	8,065	187
固定負債	2,344	2,560	▲216
負債合計	10,597	10,626	▲28

(億円未満切捨表示)

連結貸借対照表:純資産

単位:億円

	185期	184期	増減額
資本金	1,043	1,031	11
資本剰余金	542	531	11
利益剰余金	1,514	1,257	256
少数株主持分	58	49	8
その他	31	82	▲50
純資産合計	3,190	2,953	236

(億円未満切捨表示)



連結損益計算書

連結損益計算書

単位:億円

	185期	184期	増減額
▶ 売上高	15,010	14,386	624
営業利益	769	691	77
経常利益	639	490	149
特別利益	16	0	16
特別損失	75	37	38
当期純利益	351	297	53

(億円未満切捨表示)

連結株主資本等変動計算書

単位:億円

	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産 合計
平成19年3月31日残高	2,821	83	49	2,953
当連結会計年度中の変動額				
新株の発行	22	0	0	22
剰余金の配当	▲82	0	0	▲82
当期純利益	351	0	0	351
その他	▲16	0	0	▲16
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額(純額)	0	▲46	8	▲37
当連結会計年度中の変動額合計	274	▲46	8	236
平成20年3月31日残高	3,095	36	58	3,190

(億円未満切捨表示)



貸借対照表

(単独)

貸借対照表 (単独): 資産

単位: 億円

	185期	184期	増減額
流動資産	6,128	6,272	▲143
固定資産	3,100	3,109	▲9
資産合計	9,229	9,382	▲153

(億円未満切捨表示)

貸借対照表 (単独): 負債

単位: 億円

	185期	184期	増減額
流動負債	5,082	5,187	▲105
固定負債	1,593	1,763	▲170
 負債合計	6,675	6,951	▲275

(億円未満切捨表示)

貸借対照表(単独):純資産

単位:億円

	185期	184期	増減額
資本金	1,043	1,031	11
資本剰余金	521	509	11
利益剰余金	847	722	125
自己株式	▲4	0	▲4
評価・換算差額等	146	167	▲21
純資産合計	2,553	2,431	122

(億円未満切捨表示)



損益計算書

(单独)

損益計算書 (单独)

単位:億円

	185期	184期	増減額
▶ 売上高	8,899	9,196	▲296
営業利益	430	470	▲40
経常利益	317	338	▲21
特別利益	30	0	30
特別損失	62	37	25
当期純利益	208	213	▲4

(億円未満切捨表示)

株主資本等変動計算書

単位:億円

	株主資本 合計	評価・換算 差額等合計	純資産 合計
平成19年3月31日残高	2,263	167	2,431
事業年度中の変動額			
新株の発行	22	0	22
剰余金の配当	▲82	0	▲82
当期純利益	208	0	208
その他	▲4	0	▲4
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	0	▲21	▲21
事業年度中の変動額合計	143	▲21	122
平成20年3月31日残高	2,407	146	2,553

(億円未満切捨表示)

The background is a solid blue color with faint, semi-transparent images of a globe and a book cover. The globe shows continents and latitude/longitude lines. The book cover has some text, including 'LIBRARY' and 'AMERICA'.

会社が 対処すべき課題

対処すべき課題

当社グループ

緩やかな国内景気拡大の中、
平成16年度以降、順調に増収・増益

- ・サブプライムローン問題に端を発する
米国経済の停滞
- ・欧州、日本における景況感の悪化
- ・素材価格の高騰、外注費の上昇
熟練労働力の不足、為替相場の対ドル円高 他

経営環境は急速に厳しさを増す

対処すべき課題

主要課題

- ① 調達体制の整備などによる資材費高騰への対策
- ② 円建て契約や多通貨建て取引の増加、海外生産の拡大などのコストのドル化、機動的為替ヘッジなどの対ドル円高対策
- ③ 固定費の圧縮、新たな市場の開拓、機動的な販売戦略などによる世界経済減速への対策

対処すべき課題

基本方針

- ・ 中長期的観点から、次の成長に向けた布石を
着実に打つ
- ・ グループ全体で平成22年度の目標達成を目指す



中期経営計画『Global 』の見直し

- ・ 個別事業・製品ごとの戦略・施策・経営資源配分など
市場動向と競争力に応じて洗い直し
- ・ グループ全体として着実な事業運営を推進

対処すべき課題

- 車両事業
- 航空宇宙事業
- ガスタービン・機械事業
- 汎用機事業

対処すべき課題

車両事業

- ・ 北米を中心とした高水準の受注の下、国内・北米・アジア三大市場での事業運営体制の強化

航空宇宙事業

- ・ 次期固定翼哨戒機の量産対応、次期輸送機開発の完遂、ボーイング 787 増産対応など大型プロジェクトの推進

対処すべき課題

ガスタービン・機械事業

- ・ 需要拡大に伴う民需航空機用ジェットエンジン、産業用ガスタービンなどの既存機種の新機種開発の推進
- ・ 高効率ガスエンジンなどの新製品の事業展開

汎用機事業

- ・ 対ドル円高、サブプライムローン問題などの逆風下において、主力・最重点事業としての先進国向けモーターサイクルの収益性向上
- ・ 製品競争力の向上のため、グローバルレベルで開発・生産体制の強化

対処すべき課題

プラント・環境事業

- ・ 抜本的な構造改革を平成 19 年度で完了
- ・ カワサキプラントシステムズ(株)を母体の一つとして、「エネルギー・環境関連事業」の育成を加速

対処すべき課題

船舶事業

油圧機器事業



順調に収益基盤を強化

しつつ、事業を拡大中

船舶事業

- ・ 中国事業を含めた川崎造船グループでの最適生産体制の強化

油圧機器事業

- ・ 機動的な経営資源の投資
- ・ 世界5極体制(日米欧中韓)の強化

対処すべき課題

ロボット事業 } 事業価値のさらなる伸長を目指し、
建設機械事業 } 収益体質の向上施策を実施中

ロボット事業

- ・ 開発力強化、新規顧客の開拓

建設機械事業

- ・ 生産能力の向上

対処すべき課題

コンプライアンス (法令遵守)



- ・企業倫理・内部統制に関する社内規則を整備
- ・階層別教育の実施
- ・各種ガイドブックの配布
- ・各組織でのコンプライアンス委員会の設置 他

CSR推進部を中心に実行

- **収益力を強化**
- **コンプライアンスの徹底による
企業価値の向上**
- **信頼感のあるカワサキブランド
の確立**



 **Kawasaki**

第185期定時株主総会

目的事項

- 報告事項
- 1.第185期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 2.第185期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）計算書類報告の件
- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役9名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件

平成20年6月25日

川崎重工業株式会社